

1) 例解を見て考えさせること。経験すみのチザインが似
 通った課題と問題の仕組みが違ふところデマタの切
 り替えが必要。
 2) きまりに気づかない場合は、絵の単語の音韻をたどっ
 て、●が問題だと気づかせる。
 a) 音を解とする記号体験。音韻探索。
 b) さ行の音を意識。
 c) 問題の規則性を教えずに考えさせると、分析的な思考が
 働き、応用力が育つ。

Date /
 Note
 評

